

留学地（滞在地）

ラスベガス Las Vegas

(University of Nevada Las Vegas (UNLV))

ラスベガス市はアメリカ・ネバダ州最大の都市です。大小のカジノホテル、及びそれに隣接するショッピングモール・劇場・飲食店・テーマパークが林立し、世界有数のギャンブルタウンとして一大観光地となっています。協定校のUniversity of Nevada Las Vegas (UNLV)は、約40万坪（八王子キャンパスの約6倍）の広大な敷地を持つ大学で、3万人以上の学生が学んでいます。また、U.S. News & World Report誌が毎年発表する「全米で最も多様性に富んだ大学ランキング」で、10年以上前からトップ10にランクインし、ダイバーシティを実感できる環境です。



Acceleration Program 大学教育再生加速プログラム

平成27年度 文部科学省「大学教育再生加速プログラム」採択

2016年度 関東工学教育協会賞（業績賞）受賞

2016年度 日本工学教育協会「工学教育賞」受賞

留学に参加しやすく、得られることも多い！

参加前後で印象が違いました。最初はハードルが高そう、一緒に参加する友達がいない中で参加するのは勇気がいることだと思っていました。でも実際は、ハードルは高くなく、得られたことも多かったです。視野が広がったことで、**留学後もいろいろ挑戦するようになり、プロジェクト活動に打ち込むきっかけになりました。**やりたいことがまだ明確になっていない学生にもぜひ参加してもらいたいです。（機械理工学科）

英語力不問・現地授業料不要の留学

短期の留学になるので英語力が突然上がるという様なお話はないと思う。しかし、**コミュニケーションに必要な話しかける努力をすることで話す勇気が育つ**と思うので、留学の第一歩としてとても良い留学だと思う。（応用化学科）

行って後悔はないと思う。アメリカに行って、**逆に日本のことを知れた。**（環境化学科）

たとえ顔から火が噴くような恥ずかしい思い出だとしても、**失敗を重ねて、糧にしていってほしい。**（環境化学科）

参加者の皆さんの声 Voice

学会などで英語を使う機会では、留学の経験を活かし、**英語で積極的に国際交流をしていきたい。**（応用物理学科）

何から何まで自分で行う必要がある。**自分から行動しないと、有意義にならない。**自分次第で変わるもので頑張ってください。（応用化学科）

自分の人生を180° 変えるきっかけに！

元々は英語が苦手で英語力はボロボロでしたが、留学がとても楽しく、**海外で働いてみたいと思うようになりました。**帰国後も積極的に英語を勉強するようになり、英会話が必要なアルバイトを経験したり、大学院進学後は、海外のジャーナルに論文を投稿するなどしてグローバルな環境に身を置きました。就職活動の結果、留学制度のある会社から内定をいただきました。将来は海外の大学院の博士課程で学ぶことも考えています。（環境化学科卒・大学院化学応用学専攻）

友達との仲が深まった。バスケで大学にいる他の留学生や現地の人と交流できた。（応用物理学科）

工学院大学のグローバル戦略

工学院大学は、少子高齢化・内需減少が予測される中、大学に改革が求められていることから、日本に留まらずグローバルに活躍できる新しい国際育成を図るため、学内に「グローバル事業部」を設置。様々な「グローバルプログラム」を開発・展開しています。

ハイブリッド留学に参加して良かったと思いますか？

ハイブリッド留学に参加して良かった

100%

ハイブリッド留学に参加して生活や価値観に変化はありましたか？

変化はなかった

変化があった

2023年参加者アンケート結果より

先進工学部 ハイブリッド留学®

まず海を渡る！ 全てをそこから始める！

英語力不問・現地授業料不要の留学

Globalization, It is not a Desire, It is a Requirement.

留学国 アメリカ

授業は日本語、英語で生活、ハイブリッド環境によるアメリカ留学！

※「ハイブリッド留学」は工学院大学の登録商標です。 No.24

今までの留学プログラムとの違いは？

まず海を渡り、海外の「現場」で、 「数多く」の、「様々な」経験を積んでいく

ハイブリッド留学は、“まず語学の習得から”という従来の留学スタイルを脱却し、**参加に際し英語力不問、現地授業料不要とした新しい留学プログラム**です。現地での生活や協定校教員による英語の授業を通じて「英語力」を養成。本学専門科目は本学教員によりオンラインや現地へ赴いて対面授業で実施されるため単位の修得も可能。留学のハードルを下げ、より身近でチャレンジしやすいものになっています。

まず海を渡り、海外の「現場」で、「数多く」の、「様々な」経験を積んでいくことにより、いかなる場面でも対応できる柔軟な発想と行動力を身に着けます。**どのような状況であろうと自分で判断し、解決策を見出し、そして解決していく力を育成していきます。**

従来の留学 まずは語学の習得から…

参加条件（英語力）	留学先にて（受講条件・費用負担）
☑ TOEFL 61点以上	☑ 専門科目を提携大学にて英語で受講
☑ IELTS 6.0点以上	☑ 現地大学授業料が必要（半年で100～200万円）

ハイブリッド留学 まずは海を渡る！

参加条件（英語力）	留学先にて（受講条件・費用負担）
☑ 英語力不問	☑ 現地での授業料不要
☑ 本学規定の参加条件の充足	☑ 本学授業科目（英語以外）は本学教員が実施

概要

対 象	情報学部2年生
留学時期・期間	第2クォーター・8週間程度
留学地	アメリカ他、本学協定校
留学先協定校一例	University of Nevada, Las Vegas（アメリカ） ※実施する年度により受入校が変わる場合があります。
現地開講授業科目	学科により異なりますので、詳細は募集説明会で配布される各学科の資料を確認してください。

注）留学地、留学期間、留学先協定校は募集説明会で確認してください。
米国へ渡航する場合、ESTA（電子渡航認証システム）を取得して渡米します。
米国留学F-1ビザは取得しません。

■ 現地での授業スケジュール（例）

第1週	現地説明会 / 英語	第5週	AM 英語 PM 専門科目
第2週	AM 英語 PM 共通科目	第6週	AM 英語 PM 専門科目
第3週	AM 英語 PM 専門科目	第7週	AM 英語 PM 専門科目
第4週	AM 英語 PM 専門科目	第8週	AM 英語 PM 専門科目

英語授業

本学授業

重要 参加に際しての注意点

1. 申込・参加条件

（1）参加にあたっては、各学部で選考を行い参加不適切と判断された場合は、参加不可となります。また、場合によっては面談を実施し、参加の可否を決定します。

①各学科別要件

- ◎全学科共通……1年次に35単位以上修得していること（卒業に必要な単位数に算入されない科目を除く）
- 応用化学科・応用物理学科・機械理工学科……1年次の必修科目すべての単位を修得していること（ただし、第4クォーターの「重積分」は除きます）
- 生命化学科・環境化学科……1年次前期の必修科目すべての単位を修得していること
- 生命化学科・応用化学科……1年次後期の生命化学基礎実験もしくは応用化学基礎実験の単位を修得していることが望ましい。
- 履修していない学生は、事前に学部担当教員に相談してください
- 大学院接続型コース（SS）……学科配属が決定した時点で、その学科の参加条件を満たしていること

②心身共に健康で成績優良の者

- プログラム期間を通し、学習や現地の生活に耐えうる心身の健康状態にあり、またプログラム終了までその健康状態を自己管理のもとで維持することができること。
- 持病・既往症及び通院履歴等がある場合、健康上プログラムの参加に支障がないと医師の診断を受けていること。ただし、医師の診断があっても、工学院大学もしくは派遣先機関や滞在先の判断によっては、参加が認められない場合があります。
- その他、募集説明会で提示される事項について必要な申告・対応を行うこと。
申告内容に虚偽が見つかりプログラム申込後に参加不可と判断された際に発生する諸取り消し費用は、本人負担となります。

（2）募集説明会に出席し、提示された申込・参加要件を理解し、厳守を誓約できる者

2. やむを得ない理由によりプログラム途中で帰国する場合でも、修得単位不足のため進級が困難となる場合があります。

重要 実施に際しての注意点

本プログラムには参加人数による『最少実施人数』と、『最大実施人数』が設定されています。各実施人数は募集説明会で確認してください。また、国際情勢や現地協定校等の事情により、プログラムを実施できないことがありますので、予めご了承ください。

『最少実施人数』

参加人数が
最少実施人数に満たない場合は、
その年の**プログラム実施は見送り**ます。

『最大実施人数』

参加申込数が
最大実施人数を超えた場合は、
学部により参加者の選考が行われます。

概算費用（過去実績：アメリカ協定校実施）

- ①留学費用 \$3,500 （滞在費用）※1 ※2 ※4 ※5
- ②渡航費用 390,000円（ラスベガス往復運賃、燃油サーチャージ、空港税、海外旅行保険代含む）※3 ※4 ※5

※1 食費、現地交通費（通学バス代等）は含みません ※2 現地協定校が主催するイベント（参加希望制）に参加する場合、イベントにより参加費用は異なり、現地での支払いとなります。
※3 ESTA（電子渡航認証）取得費用は含みません。 ※4 実施年度の留学先の物価変動や各種料金改定、為替レートや燃油価格の変動等により費用総額は変わります。
※5 費用に関する詳細は募集説明会時に確認してください。

現地協定校一例※ School

現地受入体制

現地協定校スタッフが、生活に関する相談や、怪我・病気等の支援を行います。

University of Nevada, Las Vegas（UNLV）（州立）

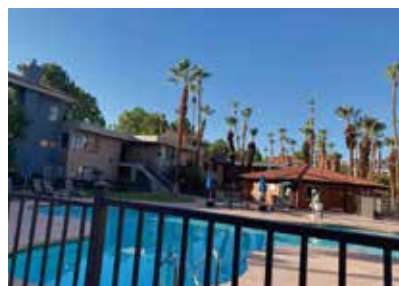
- 所在地 4505 S Maryland Pkwy, Las Vegas, NV 89154
- 設 立 1957年
- 学生数 30,000名以上
- URL <https://www.unlv.edu/>

※実施する年度により受入校が変わる場合があります。



留学中の生活 （キッチン付の 長期滞在型ホテル） Hotel Stay

協定校提携のホテルによる滞在となり、大学まで徒歩圏内にある生活設備の整った「長期滞在型Non-Gamingホテル（カジノ設備のないマンスリーホテル）」に1部屋本学学生2名で過ごします。現地での実生活を通じて、異文化や現地の風習を吸収し、また英語授業やキャンパスライフを通じ生の英語や本場のダイバーシティに触れる経験ができます。



スケジュール（2年2Q 留学の場合） ※スケジュールは実施年度により異なる場合があります。

本プログラムに参加申込するためには、『募集説明会』への出席が必須です。各説明会の詳細は1ヶ月前までに、学生ポータル(Ku-Port)で案内します。

1年次12月下旬～1月下旬	募集説明会 注）本留学の参加申込には 募集説明会への出席が必須 です。
1年次3月上旬	参加申込期間
1年次3月中旬	当年度実施の可否確定、参加者確定 注）最少実施人数に満たない場合は当年度実施を見送ります。最大実施人数を超えた場合は参加者を選考します。
以降、順次実施	手続説明会（留学手続、航空券、海外旅行保険等の手配開始）
2年次6月	出発説明会（出発の案内）
2年次8月	出発 現地説明会 帰国

ハイブリッド留学では、参加者に対して十分なオリエンテーションを実施、参加者の留学に対する意識を高め、理解を深めます。

ハイブリッド留学期間